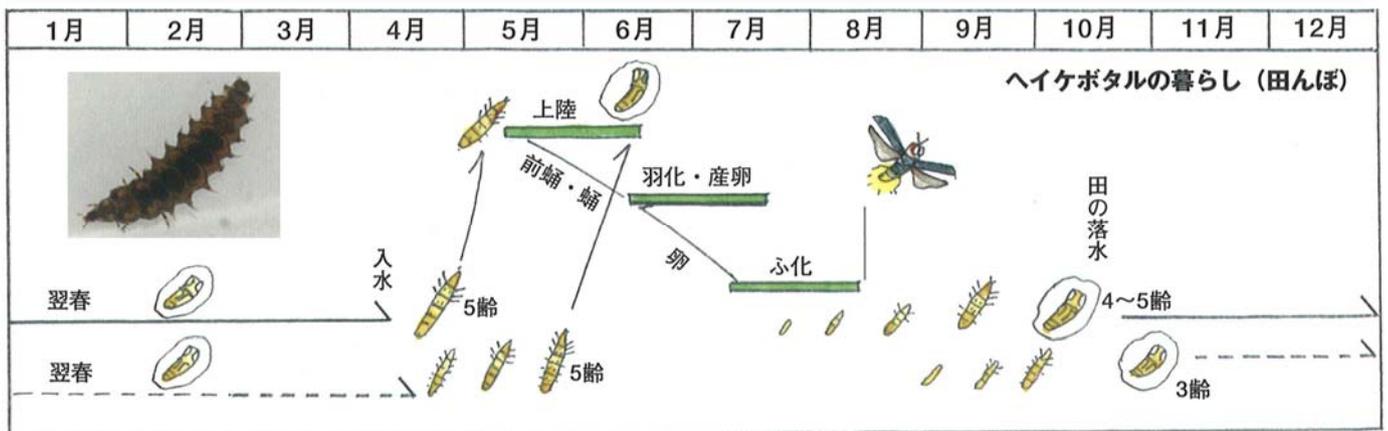


田んぼや水路で舞い飛ぶ「ハイケボタル」



右：ハイケボタル
左：ヒメボタル



ハイケボタルは、体長 8mm 程度の小さなホタルで、田んぼや水路で生活しています。

東海市でも 20 年ほど前までは、6 月から 7 月の日没後に、幻想的な光の舞いを見ることができる身近な生き物でしたが、稲作の変化や、都市化の進展により、生息数が減少し、現在では、ほとんど見る事ができない希少な生きものとなっています。

7 月頃に卵からふ化し、幼虫は水中でタニシやカワナナなどを食べて成長し、越冬します。

5 月頃に土手に上陸し、土の中でまゆをつくり、蛹になります。

6 月頃に成虫となって地上に出てきて、日没後に発光しながら飛び交い、オスとメスが出会い、水辺の草やコケに産卵し、子孫を残します。